

旅 アト

世界の課題や取り組み事例について調べてみよう。

世界各国のリサイクルについて調べてみよう

身近な課題や取り組み事例について調べてみよう。

- 製品の一生を考えてみよう
- 3Rについて考えてみよう
- 食品ロスについても考えてみよう

SDGsゴールを自分の言葉で訳してみよう。



Responsible Consumption and Production
Ensure sustainable consumption and production patterns

〈参考:外務省訳〉「つくる責任 つかう責任」 持続可能な消費生産形態を確保する

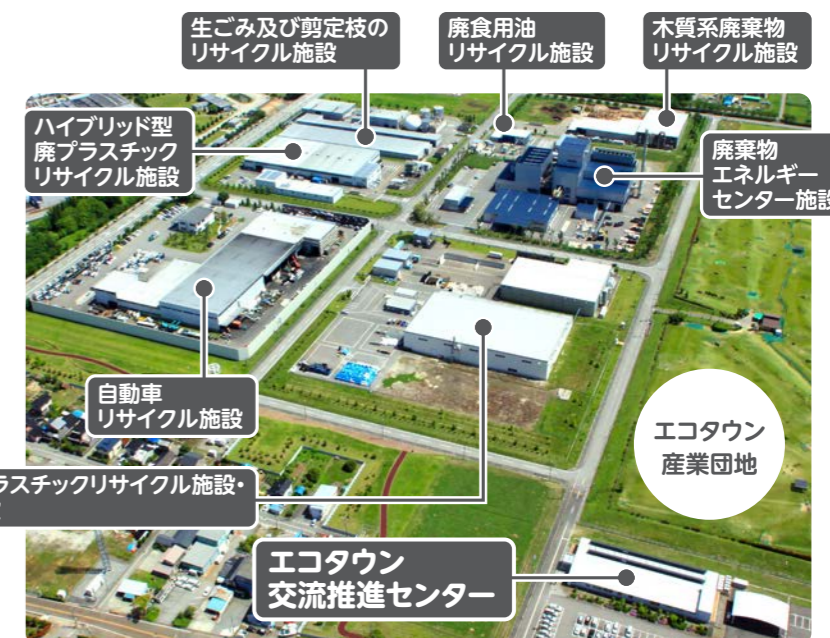
富山市の事例をもとに地域や世界に対して、自分でできることを考えてみよう。

都市の理想を、富山から。



SDGs 未来都市
TOYAMA

富山市エコタウン



エコタウン事業とは、ある産業から出るすべての廃棄物を新たに他の分野の原料として活用し、あらゆる廃棄物をゼロにすることを旨とする『ゼロエミッション構想』を基軸に、地域の振興を図りながら環境と調和したまちづくりを推進する事業です。

富山市では、北部地域に資源循環施設の拠点として約18ヘクタールの「エコタウン産業団地」を設置し、リサイクル施設を集約するとともに、エネルギー利用も含め団地内のゼロエミッション化を進めています。

現在、エコタウン産業団地では、7つの企業がリサイクル施設を操業し、環境に配慮した省資源・循環型のまちの実現を目指しています。

旅 マエ

考えてみよう。調べてみよう。わからないことを書き出してみよう。

家庭や事業所から出されたゴミはどのように処理されて行くのかな？

**ハイブリッド型
廃プラスチックリサイクル施設**

株式会社富山環境整備 エコタウン事業所

URL: <https://www.tks-co.jp/>

容器包装リサイクル法により分別回収されたプラスチックをプラスチック原材料と燃料にリサイクルします。「材料(マテリアル)リサイクル」と「燃料化」という、異なる2つの技法をあわせ持つ、ハイブリッド(複合)型プラスチックリサイクル施設では、それぞれの特色を活かすことで廃棄物を削減し、リサイクル率の向上と再生品の高品質化を実現しました。

再生したプラスチック原材料や燃料は、プラスチック成型メーカーをはじめとする企業等で使用されることで再び地域に還ります。

プラスチック資源の有効利用と地域内循環を目指し、富山のリサイクル拠点として活動していきます。



生ごみ及び剪定枝のリサイクル施設

富山グリーンフードリサイクル株式会社

URL: <http://www.tgfr.net/>

ホテル、スーパーや食品工場から発生する食品廃棄物をバイオガス化技術でメタン発酵させ、発生したバイオガスにより発電して電気エネルギーとして利用し、またその過程で生じる発酵廃液を剪定枝などのたい肥化工程に有効利用します。

バイオガスを循環拠点で、たい肥を地元の農業法人や造園業界などで有効利用することで、有機性廃棄物の地域ゼロエミッションモデルを実現しています。

また、食品リサイクル法に対応したバイオガス化施設導入のモデルケースとして、全国への波及効果が期待できます。



廃食用油リサイクル施設

浜田化学株式会社 富山営業所

URL: <http://www.hamadakagaku.co.jp>

スーパー、食品工場、給食センターなどから排出される廃食用油を原料として、メチルエステル化反応により、バイオディーゼル燃料を製造しています。これにより、化石燃料から非化石燃料への燃料転換を推進し、二酸化炭素排出量の削減を図るとともに、廃棄物の減量も推進します。

このバイオディーゼル燃料は、運送事業の車輛などに軽油代替燃料として供給されます。



木質系廃棄物リサイクル施設

アイオーティカーボン株式会社

URL: <http://www.iotc.co.jp>

あらゆる産業から排出される木くずを受け入れて、再資源化・製品化を行い社会に還元することを目指しています。

建設業から建築廃材、木製品製造業から廃木材や端材、工場から木製パレットや梱包木枠、電力会社から流木や伐採木などを受け入れます。それらを木チップ化しバイオマス燃料として電力会社、セメント会社、製紙会社などで使用されます。

さらに木チップを炭化処理し木炭製品にリサイクルしています。再生した炭化物は、土壌改良木炭や脱臭・調湿性能を活かした建材向け床下調湿炭、生活雑貨として企画・製造販売しています。



自動車リサイクル施設

日本オートリサイクル株式会社

URL: <http://www.nar-toyama.co.jp>

使用済自動車の大規模一括処理と環境保全の両立を図り、場外排出の廃棄物を最小限にするための事前選別を徹底して行なっています。マルチ解体機の使用によりプラスチック類や非鉄類といった資源を効率よく回収し、シュレッダーレス化及びリサイクル率の向上を進めると同時にリユース部品の回収も行ない、中古部品としての販売も手がけます。



エコタウン
産業団地

廃棄物エネルギーセンター施設

株式会社アイザック

環境事業本部 エネルギーセンター

URL: <http://www.izak.co.jp>

マテリアルリサイクルが不可能な廃棄物を焼却処理すると同時に、廃熱を利用した、蒸気ボイラータービンによる発電を行い、自社使用及び電力会社に売電します。さらに、発電で使用した後の低温廃熱は温水として有効利用するなど、高温から低温までの廃熱を可能な限りカスケード利用する計画でCO₂の削減を図ります。



難処理繊維及び混合廃プラスチックリサイクル施設・廃合成ゴムリサイクル施設

株式会社エコ・マインド

URL: <http://www.eco-mind.com>

設備機器の開発・改良と効果的な組み合わせにより、繊維廃棄物、汚れや異物の付着した紙や木、廃プラスチックとそれらの混合可燃物など、リサイクルが困難で従来焼却・埋立てにより処分されていた廃棄物を原料にして、低コストで品質の安定した固形燃料を製造しています。

各種廃棄物の地域内循環を図るとともに、焼却等による環境負荷を低減し、石炭から非化石燃料への転換を促進するなど、廃棄物の減量と温暖化防止に貢献します。



エコタウン交流推進センター TEL:076-438-2600 FAX:076-438-3210 URL: <http://www.toyama-ecotown.jp>

市民、事業者、行政が一体となって目指す「循環型のまちづくり」を推進するための環境学習と環境活動の拠点施設です。

エコタウン産業団地のリサイクル施設の見学会や見学者説明、企画展示等を行い、見学のサポートを行うとともに、年間を通じて環境に関する体験講座を開催しています。

主な施設として、見学者説明室、学習室、情報・資料室、常設展示室等を整備しています。

